

交安メッセンジャー 全う

東濃信金

営業用バイクに啓発ステッカー



多治見署は7日、バイクの運転者に交通事故防止を呼びかけた東濃信用金庫（多治見市本町）職員55人の代表者に感謝状を贈った。（稲木悠司）

事故防止、多治見署から感謝状

同署は8月19日の「バイクの日」にちなみ、同信用金庫職員を「交通安全メッセンジャー」に委嘱した。職員は10月31日までの74日間、営業活動で乗車するバイクに「みんなの願い 交通安全」と書かれたステッカーを貼って使用し、安全運転を呼びかけた。

署によると、活動期間中、バイクが最も過失が重い第一当事者となる事故は管内（多治見、土岐、瑞浪市）で発生しなかった。

同署で贈呈式があり、同信用金庫を代表して小林頼隆さん（27）と和田将治さん（23）が村瀬吉彦署長から感謝状を受け取った。2人は「期間中に事故が発生しなくて良かった」「ステッカーを貼ることで安全運転の意識が高まった」と話し、村瀬署長は「今後とも協力をお願いしたい」と話した。

村瀬吉彦署長から感謝状を受けた小林頼隆さん（左から2人目）と和田将治さん（同3人目）＝多治見署